

平成21年度宅地建物取引主任者本試験 解答予想

(H21.10.19現在)

下記の正解番号は解答予想として、また、合格予想点は問題の難易度から、いずれも当社が予想したものです。  
試験結果等が確定したものではありませんので、ご注意ください。  
また、本解答予想や試験内容に関するご質問は、対応いたしかねますので、予めご了承ください。

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6	問題7	問題8	問題9	問題10
4	2	3	2	1	3	3	1	3	4
問題11	問題12	問題13	問題14	問題15	問題16	問題17	問題18	問題19	問題20
4	2	4	2	3	2	3	1	1	2
問題21	問題22	問題23	問題24	問題25	問題26	問題27	問題28	問題29	問題30
3	4	2	1	2	3	1	2	2	4
問題31	問題32	問題33	問題34	問題35	問題36	問題37	問題38	問題39	問題40
4	2	2	4	4	1	3	2	3	4
問題41	問題42	問題43	問題44	問題45	問題46	問題47	問題48	問題49	問題50
3	2	3	1	4	2	4	3	3	1

合格予想点 34点 ± 1

< 試験概要 >

今年度より、一部科目の出題数に増減が行われることが公表されていたが、どの分野も重要法律・事項から出題されたものがほとんどであった。

宅建業法は、昨年より4問増えたが、組合せ問題や個数問題が増えたこと、法律全般から1問を形成する問題が増えたため、若干難しかったかもしれないが、1肢ごとにみた場合は、頻出事項とされているものが中心であった。

そのほかの科目は、昨年とほぼ同じ傾向であったが、出題数の減少によるためか、例年1問出題されていた民法の相続、税法の地方税からの出題がなかった。